



第 10 回 産業技術大学院大学 デザインコンテスト受賞者決定 未来のデザイナーがテーマ「つたえる」に挑戦

産業技術大学院大学では、「感性と機能を融合したものづくり」への理解を深め、未来のデザインプロフェッショナルを発掘・育成すべく、「つたえる」というテーマで、創立以来 10 回目となるデザインコンテストを実施しました。

海外からの応募を含め、全 82 点の応募があり、以下のとおり最優秀賞 1 点、佳作 2 点を決定しました。

なお、表彰式は、2 月 22 日(水)に産業技術大学院大学品川シーサイドキャンパスにて実施します。

◆ 受賞者及び作品名

◆ 最優秀賞 [副賞30万円]

- 郭 暁健 (千葉大学大学院 2016年3月修了)
- 富永 育穂 (千葉大学大学院 2016年3月修了)

作品名『TOKYO思い出シェアロッカー』

◆ 佳作 [副賞5万円]

- 江畑 悠 (首都大学東京 3年)
- 秋山 夏穂 (首都大学東京 3年)
- 押見 隆輔 (首都大学東京 3年)

作品名『callight』

- 浦崎 秀司 (千葉工業大学 4年)

作品名『here!』

■ 第 10 回デザインコンテスト表彰式

【開催日時】平成 29 年 2 月 22 日 (水) 18 時 30 分～19 時 00 分

【開催場所】産業技術大学院大学品川シーサイドキャンパス (品川区東大井 1-10-40)

※当日は、「AIIT イノベーションデザインフォーラム」を同時開催

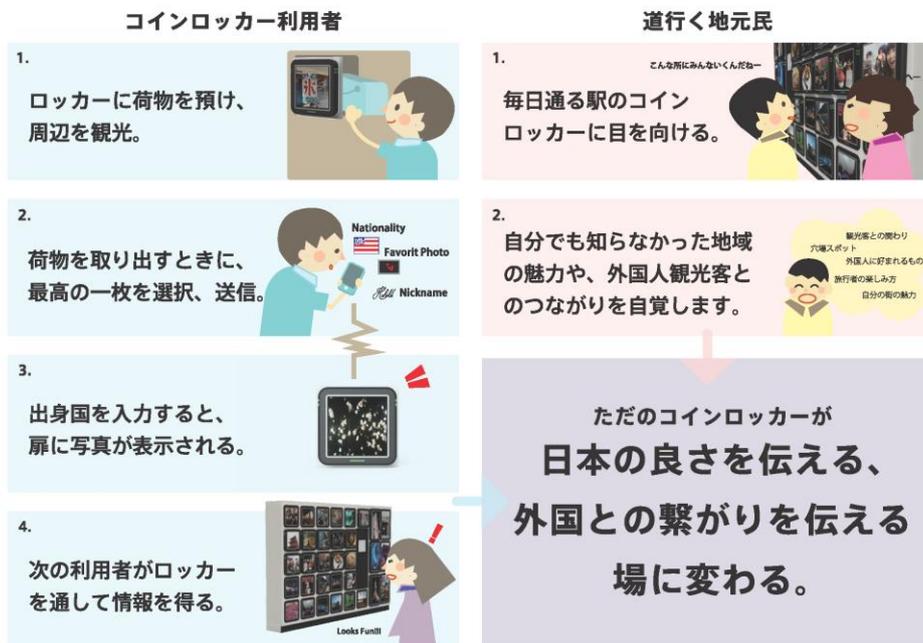
【問合せ先】 産業技術大学院大学管理部管理課

電話 : 03-3472-7834 Fax : 03-3472-2790

http://aiit.ac.jp/master_program/ide/design_contest/

最優秀賞 郭 暁健、富永 育穂（千葉大学大学院 修了）

作品名 『TOKYO 思い出シェアロッカー』



【受賞理由】

コインロッカーの扉をディスプレイに替えて、利用者の思い出の一枚（写真）を表示できるようにした。例えばロッカーに荷物を預けて食事に、そんな時の素敵な食事の写真をアップして次の利用者とシェアする。ロッカーの無機質で味気ないイメージを払拭して、利用者が写真をアップしながら次から次へと思い出をリレーしてつなげていく「みんなのギャラリー」に変身させた発想を高く評価し最優秀賞に選定した。

佳作 江畑 悠、秋山 夏穂、押見 隆輔（首都大学東京 3年）

作品名 『callight』



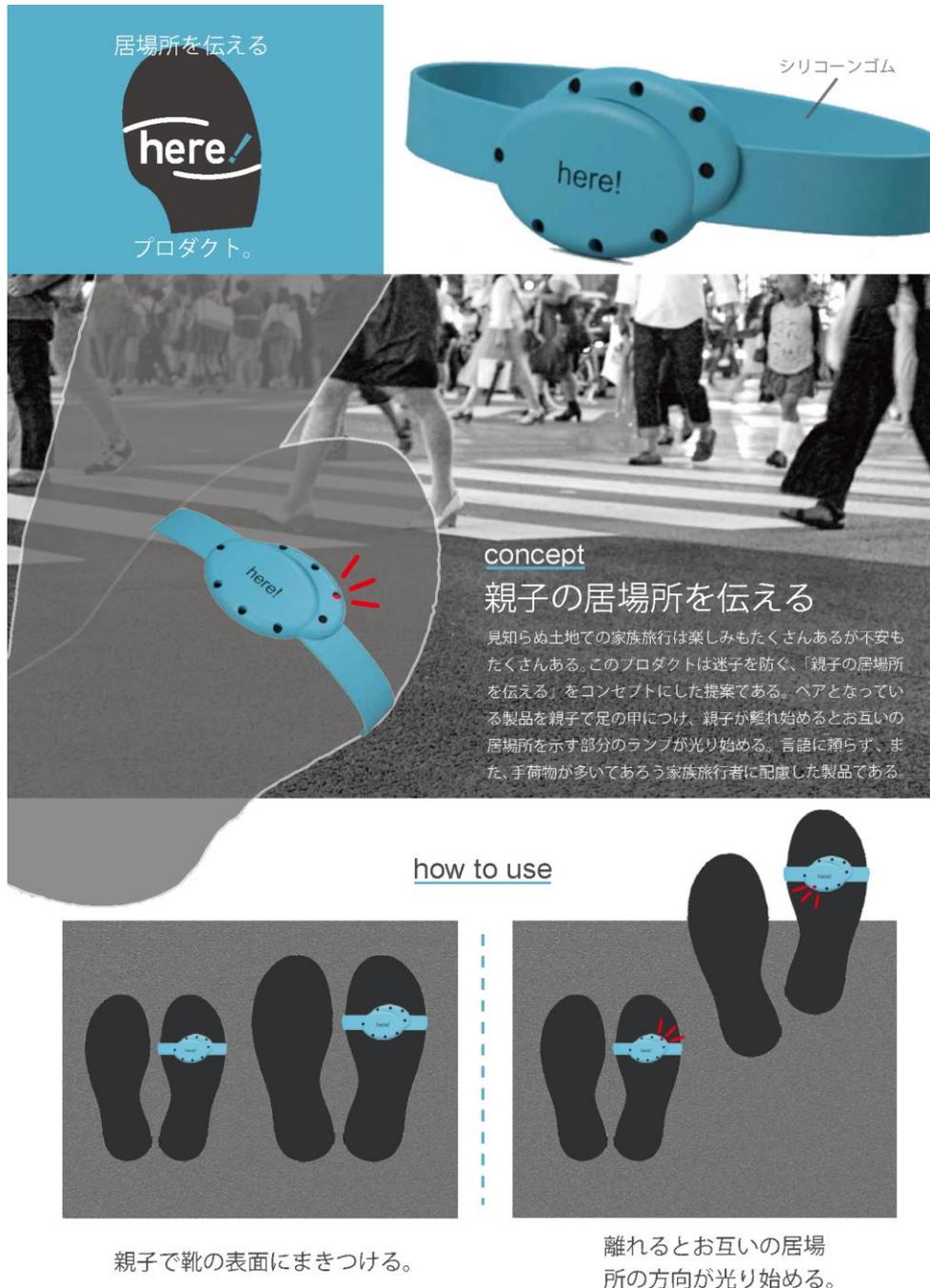
【受賞理由】

レストランのテーブルに置かれたスタンドライト。この小さなライトを点灯することで、お店の人にそっと合図をおくる。

従来の掛け声や仕草、音のかわりに光を使う視点と周りの邪魔にならない光の使い方がとても良い。シンプルな構造でテーマの「つたえる」を上品に素直に実現した工夫と発想を評価した。

佳作 浦崎 秀司 (千葉工業大学 4年)

作品名 『here!』



【受賞理由】

雑踏を親子で歩いていると、つないでいた子供の手が離れて行方を見失うことがある。そんな迷子の不安を解消するために考えたデバイスの提案である。

デバイスはベルト型で、靴の上から巻き付けるように装着する。ペアで装着した2人が離れるとランプが光り始め、お互いの居場所を伝えあって迷子を防止する。

類似の発想の問題をうまく解決をした点を評価した。